



決勝レポート

2021/6/20 Rd-4 スポーツランド SUGO

天候：曇り時々晴れ 気温：24℃ 出走台数：19台

観客数：19日(土)2,600人 20日(日)4,600人 合計7,200人

雨天で気温も低かった昨日の予選日とは打って変り、決勝日は曇り空から差すような太陽がのぞき気温も上昇。「魔物が住む」といわれるスポーツランド SUGO で迎える決勝レースは、昨日予選とは違った勢力図になるかもしれない。

牧野選手はフロントロー2番グリッド、福住選手は5番グリッドからスタート。

牧野選手は若干加速が鈍り5番手まで順位を下げてしまう。抜群の蹴りだしを見せたのは福住選手。2ポジションアップの3番手でオープニングラップを周回した。

福住選手がファステストラップタイムを更新しながら1コーナーで2番争いを制すると、牧野選手も高速テクニカルコーナーでポジションを上げるなど、両選手はチーム戦略通り着実に走行を重ねた。福住選手は首位を走る関口選手がピットインすると、オーバーテイクシステムを作動させて翌18周目にピットイン。チームも7秒という素早いピット作業でこれに答え、関口選手の前でコースに戻ることに成功した。

牧野選手は前が開けた状況でタイムを稼ぐ戦略だったが、スロー車両に追いついてしまいタイムロス。24周目にピットへ向かった。

全車がピットインを終了した時点で、福住選手は2位に6秒以上の差をキープし独走態勢。このままスーパーフォーミュラ初優勝を飾った。

牧野選手は終盤10周に渡る野尻選手とのバトルを制し、5位でポイントを獲得した。

5：福住選手 優勝 (HONDA 勢1位)

昨日の雨の予選ではトップとの差を感じていましたが、ドライコンディションでは感触がよく、スタートに集中して臨みました。序盤から車は速くて、2位争いの1コーナーでは接触しながらもポジションを上げることが出来、ピットインのタイミングやペースもチームと頻繁にやり取りしながら冷静に対処できました。これまで勝てるレースを落としてきましたが、やっと優勝でき、支えてくださる皆様に感謝の気持ちしかありません。

まだまだ通過点ですから、この経験と結果を次戦に活かしてさらに上を目指します。

6：牧野選手 5位 (HONDA 勢4位)

コースイン側は路面状況が悪かったこともあり、スタートでポジションを落としてしまいましたが、タイヤやレース展開を考えてペースを守って走行しました。戦略の判断が難しい場面もあり、反省点や課題も見つけることが出来ましたし、復帰後初のドライのレースで体力的にも気づきがありました。予選でのパフォーマンスもよく、全体的に非常にポジティブな週末でしたから、次戦に向けていいステップとなりました。次戦茂木にご期待ください。